

島に住む幸せ・島で働く笑顔・交流する島の活力ー生きる幸せが実感できる島ー

いへやそん

伊平屋村

市町村コード	473596	類型	I-0
所在地	〒905-0793 伊平屋村字我喜屋251番地		
T E L	(0980)46-2001	F A X	(0980)46-2956
ホームページ	http://www.vill.iheya.okinawa.jp		
指定地域	離島・過疎・辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

〈組織〉 (令和3年3月31日現在)

村長	いれいゆきお 伊礼幸雄 任期 R3.9.13 (3期)	副村長	きんじょうときまさ 金城時正 任期 R6.7.13 (1期)
副村長	-	教育長	ひがしおんなよしかず 東恩納吉一 任期 R3.3.31 (3期)

〈概要〉

県下 25 位	総面積 R2.10.1	耕地 R2.7.15	宅地 R2.1.1
21.82 km ²	334 ha	395,960 m ²	

県下 35 位	住基人口 R2.1.1	H27国調人口	H22国調人口
1,231 人	1,238 人	1,385 人	
年少人口割合 19.1% (県全体 17.5%)	高齢化率 26.3% (県全体 19.6%)		

住基世帯数 R2.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
591 世帯	516 世帯	523 世帯

有権者数 R3.3.1	男	女
967 人	532 人	435 人

議長	きんじょうのぶみつ 金城信光	副議長	なかりつお 名嘉律夫
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	8	8	R4.9.27
	常任委員会 総務文教民生、 経済建設	党派構成	無所属
	8	-	-

沿革	明治41年4月1日 村制施行 昭和14年7月1日 伊是名村が分離 - - -
----	--

R2.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	67 人	51 人	16 人
人口千人 当たり職員数	54.43 人	41.43 人	13.00 人
各4.1現在	令和2年度	令和元年度	平成30年度
職員数 (普通会計)	51 人	46 人	48 人
類似団体	-	25 (31)	24 (34)
ラス指数	90.3	89.1	88.2

※類似団体()は修正値。ラス指数の()は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

〈基本構想〉

基本構想	H24~R3	中長期財政計画	無
基本計画	H24~R3	(- -)	
実施計画	H24~R3	(2年計画 1年ローリング)	

〈村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭/行事等〉

村花	ツツジ(トウサツキ)	村木	クバ
村鳥	-	村魚	イシミーバイ
名所・旧跡	念頭平松、天の岩戸、くば山、無蔵水、屋蔵墓、野甫大橋、神アシャギ		
祭り、行事	豊年祭、いへやまつり、田名のウンジャミ、我喜屋大綱引き、伊平屋ムーンライトマラソン、伊平屋ヴィレッジトレイル		
名産・特産	黒糖、米(ちゅらひかり)、モズク、アーサ、照島(泡盛)、ヤイトハタ、たまねぎ、黒糖アガラサーミックス		
姉妹都市	-		
その他	鳥取県境港市(児童交流)		

〈令和3年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	沖縄製糖業体制強化事業	新規	451
補助	伊平屋地区漁港整備事業	継続	200
補助	農地保全整備事業(田名東部地区)	継続	66
-	-	-	-

〈広域市町村圏・広域計画〉

北部広域行政圏計画
地域経済活性化計画
北部地方拠点地域基本計画
-

〈基地面積〉 (R2.3末)

米国軍	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	0.0%
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	0.0%
合計	0.0 ha
県面積に占める割合	0.00%

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	沖縄製糖業体制強化事業	R3~R4	-
補助	伊平屋地区漁港整備事業	H26~R3	-
-	-	-	-
-	-	-	-

〈教育〉 (令和2年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
公立幼稚園	0園	0人
私立幼稚園	1園	14人
公立小学校	2校	85人
中学校	2校	51人
村 立	2校	51人
村立以外	0校	0人

〈医療〉 (令和元年度)

区分	施設数	病床数
病 院	0箇所	0床
村 立	0箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
診 療 所	2箇所	0床
村 立	1箇所	0床
村立以外	1箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

〈財政〉

① 決算収支 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度
歳入総額	3,571	4,900	4,805
歳出総額	3,349	4,765	4,635
形式収支	222	135	170
実質収支	211	87	149
比率	18.5%	7.7%	13.7%
積立金	98	136	43
積立金取崩額	130	46	182
実質単年度収支	2	△ 34	△ 76

③ 公営事業会計等における繰入金の状況 (R元年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金	
国民健康保険事業	5	10	0	
老人保健医療事業	0	0	-	
介護保険事業(保険)	0	0	-	
後期高齢医療事業	0	5	-	
区分	実質収支	繰入金	うち標準外繰入	
法非適	簡易水道事業	12	33	10
	下水道事業	12	34	18
	港湾事業	6	0	0
	-	0	0	0
法適	交通(船舶)事業	△ 29	71	71
	-	0	0	0
	-	0	0	0

④ 歳入の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	83	1.7%
地方譲与税	19	0.4%
地方交付税	1,161	24.2%
普通交付税	939	19.5%
特別交付税	221	4.6%
国庫支出金	288	6.0%
県支出金	2,258	47.0%
地方債	356	7.4%
その他	640	13.3%
歳入総額	4,805	100.0%

⑤ 歳出の状況 (R元年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	502	10.8%
物件費	550	11.9%
扶助費	74	1.6%
補助費等	411	8.9%
公債費	212	4.6%
普通建設事業費	2,519	54.3%
補助事業費	2,480	53.5%
単独事業費	36	0.8%
その他	367	7.9%
歳出総額	4,635	100.0%

〈産業〉 ① 産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	111人	18.0%
第2次	136人	22.1%
第3次	369人	59.9%
合計	616人	100.0%

〈福祉〉

区分	施設数	収容定数
保育所(R2.4.1)	1箇所	60人
村 立	1箇所	60人
村立以外	0箇所	0人
生活保護率(R元年度平均) 人口千人当たり		16.19人

② 村内総生産 (H29年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	152	2.9%
水産	152	2.9%
鉱・製造	456	8.7%
建設	1,946	37.1%
電気ガス水道廃棄物	76	1.4%
運輸・郵便・通信	296	5.6%
卸売・小売	197	3.8%
金融保険不動産	139	2.7%
宿泊・飲食サービス	144	2.7%
専門・科学技術支援	144	2.7%
公務・教育	1,165	22.2%
保健衛生社会	178	3.4%
その他サービス	199	3.8%
合計	5,244	100.0%

② 主要指標 (百万円)

区分	H29年度	H30年度	R元年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.09	0.10	0.10	39	0.39	0.55	0.33
標準財政規模 a	1,144	1,127	1,093	35	8,519	23,170	3,148
経常収支比率	85.0	81.3	82.6	5	89.6	91.1	86.0
人件費	34.2	34.8	35.8	35	23.6	22.9	25.4
扶助費	1.8	1.1	0.7	3	17.2	20.6	8.5
公債費	17.3	15.6	15.2	20	14.1	14.3	13.3
物件費	18.4	17.0	17.1	25	15.1	14.8	16.1
その他	13.3	12.8	13.8	11	19.6	18.5	22.7
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	6.8	5.4	4.6	5	7.5	8.0	6.4
将来負担比率	155.2	52.1	82.5	-	23.0	39.9	-
税徴収率	86.2	86.6	85.6	38	0.0	0.0	0.0
現年課税分	97.0	96.8	95.6	38	0.0	0.0	0.0
滞納繰越分	15.8	18.7	17.6	39	0.0	0.0	0.0
債務負担行為額 b	4,571	4,571	1,715	-	-	-	-
b/a %	399.5	405.5	157.0	-	-	-	-
地方債現在高 c	2,534	2,929	3,085	-	-	-	-
c/a %	221.5	259.9	282.3	40	-	-	-
積立金現在高	305	400	263	-	-	-	-
財政調整基金	234	325	186	-	-	-	-
減債基金	20	30	30	-	-	-	-
その他特目基金	50	45	47	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	67,052	67,241	67,706	1	-	-	-
自主財源比率	17.0	10.7	14.5	40	-	-	-

〈行政の特色〉

『島に住む幸せ・島で働く笑顔・交流する島の活力』～生きる幸せが実感できる島～
を村の将来像と掲げ、農林漁業の振興、生活環境の整備、教育文化の推進、港湾、空港の整備等、自然環境を大切にしながら、文化生活を営む健康で豊かな村づくりを推進する。